

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和5年度末）

＜進捗の目安＞

- ◎ 順調 : 目標値以上
- 概ね順調 : 基準値以上
- × 努力が必要 : 基準値以下
- 実績なし

基本目標 1

いきいきと輝き続ける“ひと”

若い世代の結婚・妊娠・出産、子育ての希望をかなえ、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいをもち地域で活躍する郷土愛にあふれたひとづくりを進めます。

■ 数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
年間出生数	実績値	20	22	19	22	11	25	住民基本台帳（1～12月）
	達成状況		○	×	○	×		

■ 数値目標の分析

【出生数】

- 令和5年度の出生数は16人で、近年の出生数は、20人程度で推移している。
- 直近10年間の平均出生数は、22.3人/年（昨年：23.9人/年）。
- 5年間に区切って見ると、前半（H26～H30）24.4人/年、後半（R1～R5）20.2人/年で、4.2人/年減少している。

【婚姻数】

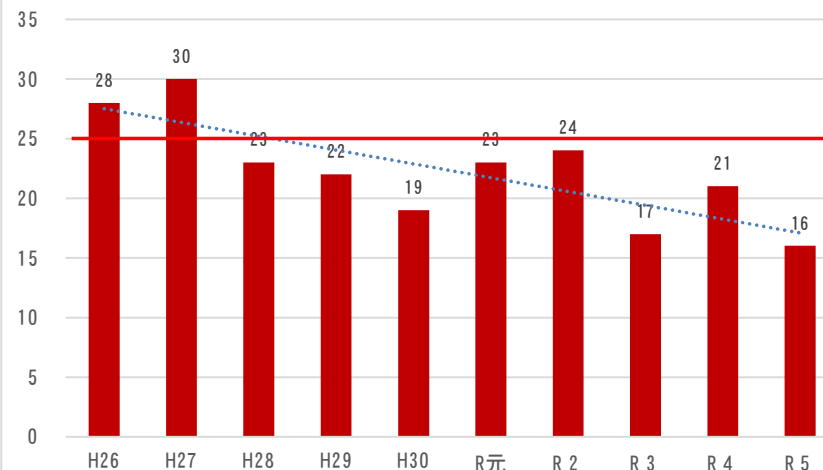
- 令和5年度の婚姻数は6件で、近年は低水準で推移している。
- 直近10年間の平均婚姻数は、10.8件/年（昨年：11.8件/年）。
- 5年間に区切って見ると、前半（H26～H30）13.0件/年、後半（R1～R5）8.6件/年で、4.4件/年減少している。

【18～40歳人口の状況】

- 平成26年時点では男性625人、女性482人であったが、令和5年時点では男性が392人（△233人）、女性が310人（△172人）となっており、10年前の63.4%となっている。
- 女性人口に対しての出生数の割合を見ると、10年間平均では5.7%であり、横ばいで推移している。

【参考】

出生数の推移（前年10月～当年9月）



2

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
次代を担う人材教育	葛巻高校入学者数	実績値	46人	49人	56人	46人	40人	42人	こども教育課調べ (参考) ・ 町内：25人/30人(入学率：83.3%) ・ 定員充足率：40人/80人(50.0%)
		達成状況		◎	◎	◎	×		

重点施策	区分	令和5年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
コミュニティ・スクール設置事業 【こども教育課】	新規	【事業内容】 ・全小中学校において、コミュニティ・スクールを設置 【事業実績】 ふるさとキャンパス推進委員会開催（令和4年度～設置） 設置数7校（全5協議会）	・「ふるさとキャンパス構想」に基づき、キャンパスごとに、年間計画を作成し、授業交流研修会や集合学習、交流学習等を実施した。 ・学校運営協議会制度を導入し、全校がコミュニティ・スクールを設置した。
就学前教育充実事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・幼児期における発達段階に応じた学習や体験活動を充実し小学校入学後の義務教育へのスムーズな移行 【事業実績】 バイオリン学習の実施 実施回数：全68回 幼児教育アドバイザー1名	・年長児・小学校低学年を対象にバイオリン学習を実施することにより、情操教育の充実が図られているとともに、各種発表会等への参加により、貴重な体験を積むことができている。 ・幼児教育アドバイザーによる巡回指導等を実施し、発達段階に応じた活動の充実を図り、幼児教育の視点を取り入れた保育士の資質向上に努めた。
保育園・小学校・中学校・高等学校教育連携事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・各種学校間の教育連携の継続・強化による基礎学力向上と一貫した児童生徒指導の実践 【事業実績】 各支援員の配置 学校教育アドバイザー1名、学力向上支援員2名、外国語教育支援員1名、特別支援教育支援員4名、心の教室相談員2名	・中高一貫教育として、英語・数学を中心とした授業交流や部活動交流、進路指導、生徒指導等により、中高6年間を通じた系統的、継続的な指導を実施した。 ・保小連携研修会を開催し、保育園と小学校の効果的な接続の実現に向けて、小学校生活につながる情報交換や情報共有をし、児童の側に立った保・小の接続・連携の在り方について知見を深めた。
くずまき山村留学制度推進事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・山村留学生の受け入れや寄宿舎運営体制の充実 ・山村留学生確保に向けた情報発信と全国ネットワーク「地域みらい留学推進協議会」への参画 【事業実績】 ・山村留学生：26人（1年：6人、2年：11人、3年：9人）	・全国から山村留学生を受け入れ、将来的な交流人口・関係人口の創出につながっている。 ・山村留学生に寄宿舎生活のサポート体制の充実とさらなる地域との交流が求められる。
葛巻町学習塾運営事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・個々の学習ニーズに合わせたフォロー ・Birth47に管理運営業務を委託 【事業実績】 ・利用生徒数（R5.12.1）：93人（利用率：67.4%）	・令和5年度の国公立4年制大学への進学者が15人となるなど、塾による学習支援の成果が表れている。 ・今後は、葛巻高校から難関大学及び医療系大学への進学が期待される。
奨学金支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・看護職員等養成修学資金貸付制度の活用促進 ・UIターン者に対する奨学金返済支援を検討 【事業実績】 ・薬剤師：1名（840,000円） ・社会福祉士：1名（825,600円） ・臨床検査技師：1名（1,400,000円）	・令和5年度から社会福祉士、臨床検査技師を目指す学生2名に新たに貸付を開始し、貸付者は計3名となっている。 ・今後も葛巻病院など関係機関と更なる連携を図り、医療介護職員等の確保に努める。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
高齢者の生きがいづくりと 地域福祉の推進	要介護認定率	実績値	22.7%	23.6%	24.1%	24.1%	22.9%	22.0%	健康福祉課調べ
		達成状況		×	×	×	×		

重点施策	区分	令和5年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
高齢者福祉施設整備事業 【健康福祉課】	新規	【事業内容】 ・高齢者相互の交流機会の創出及び生きがい活動を推進するための拠点整備 【事業実績】 ・外構工事その2：12,922,800円	・本事業の最終工事となる「外構工事その2」を、令和5年5月31日で完成した。 ・本施設は、高齢者や障がい者の交流の場としての機能を有し、生きがい活動を推進するための拠点となるため、指定管理者の運営による施設の有効活用を推進していきたい。
ボランティア活動推進事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・ボランティア募集や交流会、養成講座等の開催 【事業実績】 ・ボランティア登録者数：268人 ・各種事業へのボランティア参加(配食サービス事業:延べ792人)	・ボランティア登録者数は268人で、前年と比較して7人の減となった。この減少の要因に、高齢化等の理由による辞退が考えられる。 ・ボランティア募集等の啓発活動や養成講座を開催。 ・福祉関連事業の実施については、地域住民の共助体制が不可欠であるため、更なる普及推進に努めていきたい。
地域包括ケアシステム構築事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・高齢者が住み慣れた地域や自宅で快適な生活を送るためのケア体制の充実 【事業実績】 ・要支援認定者数：168人 ・要介護認定者数：452人 (介護予防教室、シルリハ体操の日：83回開催) ・認知症サポーター養成講座修了者数：1,614人(延べ) (認知症サポーター養成講座：1回開催) ・認知症スクリーニング事業実施件数：436件	・令和5年度末の要支援及び要介護認定者数は620人で、前年より43人減少しているが、サービス利用するためには必要な手続きであり、各月によって申請件数の変動があるものの、認定者数は概ね横ばいの状況にある。 ・シルバーリハビリ体操を地域へ普及することで、高齢者の介護予防(フレイル予防)に努める。 ・認知症スクリーニング事業により、早期発見・早期治療へつなぐ支援構築を継続していく。
シルバー人材センター等総合支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・生きがい就労活動や相互支援活動 【事業実績】 ・シルバー人材センター会員数：30人 ・シルバー人材センター受託件数：120件(実利用者46人) (草刈り、庭木の手入れ、除雪作業など)	・令和5年度の会員数は、前年度より3人の減少となった。この減少の要因に、高齢化等の理由による辞退が考えられる。 ・受託件数については120件で、前年より22件の減少となったが、実利用者人数は5人増加した。利用者の口コミ等により、利用が増えていると思われる。 ・今後も高齢者の就労活動の機会向上と、住民にとって気軽にサービス利用できるような仕組みづくりに努めていきたい。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値					目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
文化・スポーツ活動の 機会づくり	生涯学習講座等参加割合 (対人口比)	実績値	29.6%	20.7%	26.3%	25.0%	30.3%	35.0%	まなび交流課調べ	
		達成状況		×	×	×	○			
	スポーツ教室参加者割合 (対人口比)	実績値	37.1%	27.2%	26.9%	31.5%	34.6%	40.0%	まなび交流課調べ	
		達成状況		×	×	×	×			

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
生涯学習施設環境充実事業 【まなび交流課】	新規	【事業内容】 ・新庁舎建設を機会に生涯学習施設の整備充実と教室や講座メニュー、人材育成等のソフト面の充実 【事業実績】 ①町民まなびい学園：243講座、延べ3,473人 ②公民館図書室貸出冊数：18,380冊	・町民が心豊かで充実した人生を送るため、生涯の各時期における学習課題に応じた事業を展開し、生涯学習の効果的推進を図った。 ・生涯読書の推進を掲げ、町民の読書ニーズに応え新刊図書の整備を図り、公民館図書室の蔵書の充実に努めたい。
文化活動支援事業 【まなび交流課】	新規	【事業内容】 ・町民の自主的な文化活動の支援と文化交流の促進による交流人口の拡大 【事業実績】 ①生涯学習フェスティバル文化展の開催 参加団体：13団体 出品343点 ②文化活動支援事業費補助金 利用団体：5 団体 222,000円	・文化芸術団体や生涯学習サークルの活動を支援し、主体的な文化活動の奨励に努めた。 ・文化活動支援事業費補助金については制度の周知を図りながら各種団体の自主的な活動推進につなげていきたい。
スポーツツーリズム奨励事業 【まなび交流課】	継続	【事業内容】 ・町のスポーツ施設を利用した大会の主催者や合宿利用者への支援 【事業実績】 ①スポーツ合宿等宿泊費補助金 利用団体：15団体 延べ635人 1,006,580円 ②スポーツ大会等誘致運営費補助金 利用団体：6 団体 延べ819人 90,000円	・令和 5 年度は関東圏の大学チームのほか、東北地区のチームの利用実績があったことから、引き続き新規及びリピーターの合宿誘致に努める。 ・スポーツ施設と助成制度等を効果的に活用して、スポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大を図る。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
未来を協創するまちづくりの推進	地域づくりリーダー研修会実施	実績値	－	0回/年	0回/年	0回/年	0回/年	1回/年	
		達成状況		×	×	×	×		

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
まちづくり検討会実施事業 【政策秘書課】	新規	【事業内容】 ・まちづくりに関する住民参画機会の創出とまちづくり人材の育成 【事業実績】 ・実績なし	・町民の町づくりに関する意見交換等の機会を設け、住民参画を促すとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成する必要がある。
協創（協働）のまちづくり事業 【総務課】	拡充	【事業内容】 ・協創の姿勢により、将来のまちづくりにつながる取組への支援 【事業実績】 ①協創のまちづくり補助金：15事業 1,850,387円 ②自治会活動交付金：32自治会 21,753,000円 ③コミュニティ助成事業：実績なし ④冬部コミュニティセンター整備事業：55,810,700円	・協創のまちづくり交付金については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、従来の活動に戻りつつある。 ・自治会活動交付金については、物価高騰対策経費として、電気料の値上げや物価高騰等による施設の維持費等の負担増に係る経費について上乗せで支援した。 ・冬部地区のコミュニティ活動の拠点となる「冬部コミュニティセンター」が完成し、今後のコミュニティ活動の活性化が期待される。

有識者会議及び議会の結果

<年間出生数>

- ・ 出生数が11人に対して対象となる母数を比較した分析が必要。
- ・ 経済的な支援だけでは出生数が増えていない。意識に問題か。
- ・ 結婚しなければ子供は増えないので結婚対策が重要である。自然な出会いを創出する施策を期待したい。

① 子育てしやすい環境の整備

- ・ 合計特殊出生率が高いのは母数が少ないものもあるが、1家族での出生数（2～3子）は多い印象がある。
- ・ 子育て支援は他の市町村にないくらい充実している。子育て支援策のPRをさらに強化していくべきではないか。
- ・ 若者が定着しない要因として「希望する働く場（企業）が少ないこと」、「田舎特有の人や地域との距離感が近いこと」及び「若者の負担感が多くなっていること」が考えられる。受入側の意識も変えつつ、行事イベントを見直しながら暮らしにゆとりを持たせることが必要ではないか。
- ・ 結婚に至るまでの支援が必要。横のつながりが昔より薄くなっているので結婚に向けて独身者をいかに動かすかがポイント。「結婚相談しやすい環境づくり」、「iーサポ・婚シェルジュのPR・活動強化」や「参加しやすいイベントの開催」が必要ではないか。

② 次代を担う人材教育

- ・ 山村留学制度は、岩手県内に波及しているモデル的な事業。
- ・ 山村留学生在が葛巻町に戻ってきやすい仕組み作りが必要で、戻ってきやすい仕組み・体験制度（居住体験等）があっても良いのではないか。
- ・ 子供が少ないことを活かした教育体制を構築してはいかかが。（秋田県の小規模学級の実践など）

③ 高齢者の生きがいづくりと地域福祉の推進

- ・ 特になし

④ 文化・スポーツ活動の機会づくり

- ・ 町のスポーツ施設をさらに利用しやすいようにしてほしい。

⑤ 未来を協創するまちづくりの推進

- ・ 特になし

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和5年度末）

<進捗の目安>

- ◎ 順調 : 目標値以上
- 概ね順調 : 基準値以上
- × 努力が必要 : 基準値以下
- 実績なし

基本目標 2

誰もが住みたくなる“まち”

町が持つ自然、空間を大切にしながら、情報通信技術の利活用や道路交通網の整備等により生活環境の快適性を高め、町での暮らしを求める人の流れを作り出すとともに、若者を始め誰もが心安らぐ快適な生活を送ることができる環境づくりを進めます。

■ 数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
人口の社会動態	実績値	△54人	△44人	△31人	△21人	△36人	△35人	住民基本台帳（1～12月） ※実績値（R5）：転入者108人、転出者144人、社会増減△36人
	達成状況		○	◎	◎	○		

■ 数値目標の分析

【転入の状況】

- 令和5年度の転入者数は127人で、うち県内が81人、県外等が46人となった。
- 直近10年間の平均転入者数は、122.2人/年（昨年：124.5人/年）。
- 5年間に区切って見ると、前半（H26～H30）129.6人/年、後半（R1～R5）114.8人/年で、14.8人減少している。

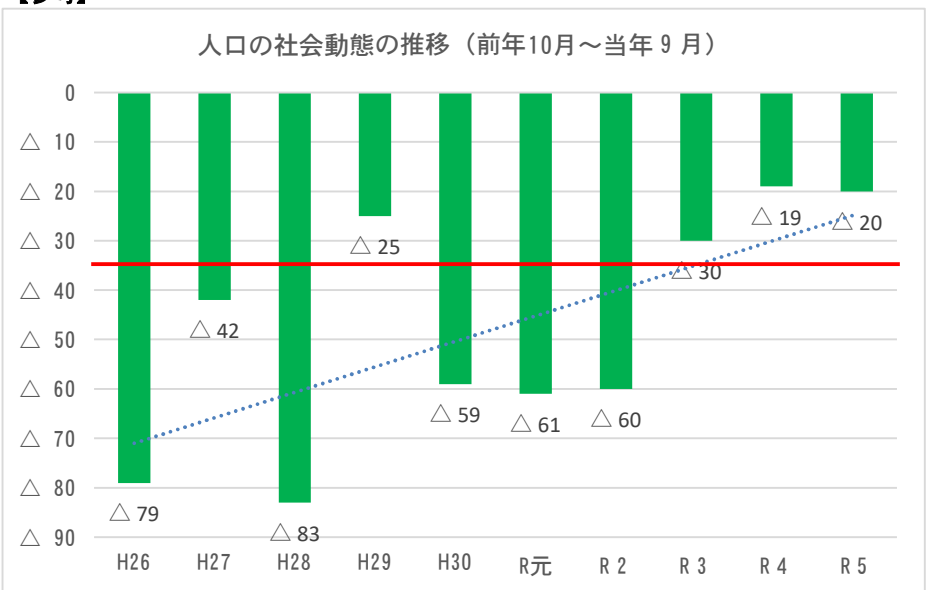
【転出の状況】

- 令和5年度の転出者数は147人で、うち県内が92人、県外等が55人となった。
- 直近10年間の平均転出者数は、170.0人/年（昨年：175.8人/年）。
- 5年間に区切って見ると、前半（H26～H30）187.2人、後半（R1～R5）152.8人で、34.4人減少している。

【社会増減】

- 令和5年度の実績は△20人、増減率は△0.36%となった。
- 直近10年間の平均社会増減数は、△47.8人/年の社会減（昨年：△51.3人/年）。
- 5年間に区切って見ると、前半（H26～H30）△57.6人/年、後半（R1～R5）△38.0人で、社会減が19.6人減少している。

【参考】



戦略 2	魅力あふれる“まち”づくりプロジェクト
------	---------------------

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
若者世代が暮らしたくなる 住宅環境の整備	若者定着率	実績値	32.5%	55.0%	38.5%	29.3%	43.6%	40.0%	5年前の15～19歳人口に対する20～24歳人口の比率（10/1現在） ※実績値（R5） H30年の15～19歳：188人 R5年の20～24歳：82人
		達成状況		◎	○	×	◎		

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
定住促進住宅整備事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・定住促進住宅及び子育て世代定住促進住宅の整備 【事業実績】 ・令和 5 年度は新規定住促進住宅及び子育て世代定住促進住宅の整備は無し。	・整備済みの全31世帯分の定住促進住宅等の運用状況を鑑みて、今後の新規住宅の整備計画を検討する。 【入居状況（R5末）】 21世帯/31世帯
民間賃貸住宅等確保促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・町内の事業者等と連携した民間の賃貸住宅等の確保事業 【事業実績】 ・民間の賃貸住宅の入居状況や、新規整備状況について情報収集に努めた。	・引き続き、若年層を中心とした世代の住宅確保支援のため、民間の賃貸住宅の整備状況に関する情報収集に努める。
空き家利活用促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・空き家バンク登録事業、空き家リフォーム事業、土地情報提供事業 【事業実績】 ・空き家バンク新規登録：6件 ・空き家活用奨励事業：0件	空き家の利活用をより一層促進するためには、空き家活用奨励事業を再点検し、空き家所有者の残置物撤去等に係る負担軽減を図る必要がある。 【空き家バンク登録件数（R5末）】 12件
水洗化普及支援事業 【水道事業所】	継続	【事業内容】 ・水洗化工事に係る経費の一部助成 【事業実績】 ・助成件数：9件（3,500,000円）	・水洗化率は年々増加しているものの、県平均を下回っている状況である。 ・高齢者世帯の増加により、住宅の建替えや改築を先送りにする傾向があり、水洗化の普及が進みにくい状況である。
住宅取得支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・子育て世代移住者への住宅取得支援、町民の定住対策としての住宅取得支援 【事業実績】 ・新築住宅 3戸、中古住宅 5戸	・住宅取得支援事業は、定住奨励事業や新婚ライフサポート事業、若者定住家賃助成事業等と合わせて、若い世代の定住支援に一定の効果을上げている。

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
住宅リフォーム支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	拡充	【事業内容】 ・快適な住環境づくりに向けたリフォーム支援、断熱改修に対する支援拡充を検討 【事業実績】 ・助成件数：35件 助成額：14,194,000円	令和 4 年度までは 1 度しか利用できない制度であったが、令和 5 年度に要綱を改正し、過去に利用した方でも再利用可能とした。また、助成上限額も15万円から50万円に増額したこともあり、実績の増加につながった。
くずまき型エコハウス推進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・葛巻の寒さに対応するエコで暖かい住まいづくりの推進 【事業実績】 ・実績なし	令和5年度は検討等も行われず、特に進展はなし。 快適な住まいづくり応援事業の活用による事業の推進を図る。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
交通ネットワークの充実	道路改良率	実績値	71.5%	72.2%	72.3%	72.3%	72.3	73.0%	地域整備課調べ
		達成状況		○	○	○	○		
	路線バス1便当たり利用者数	実績値	5.31人	4.68人	4.24人	4.33	4.53	5.31人	政策秘書課調べ
		達成状況		×	×	×	×		

重点施策	区分	令和5年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
生活関連道路網整備充実事業 【地域整備課】	継続	【事業内容】 ・生活関連道路の拡幅改良等 【事業実績】 ・町道茶屋場田子線 ・町道葛巻浦子内線 ・町道追鍋線 ・町道野場川原線	・道路は生活する上で重要な社会資本であり、引き続き拡幅改良等により利便性、安全性、快適性の向上を図る必要がある
地域高規格道路整備促進事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・北岩手北三陸横断道路の整備促進活動 【事業実績】 ・総会、決起大会：R5.6.17 ・要望活動：岩手県_R6.3.25 岩手河川国道事務所_R6.3.28 ・意見交換会：岩手県_R6.1.31	・令和3年6月に策定された「岩手県新広域道路交通ビジョン」「岩手県新広域道路交通計画」において、高規格道路としての役割が期待される構想路線として「(仮称)久慈内陸道路」の名称で位置付けられたところであり、令和4年度から、当該路線の調査に着手いただいている。 ・今後も引き続き、次の段階となる個別路線の調査に着手するとともに、高規格道路として早期に整備・着工されるよう、要望活動等を展開していく。
路線バス維持対策事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・100円バス化による利用促進、広域路線の維持対策 【事業実績】 ①利用実績：J Rバス 32,269人（前年比：1,369人） 県北バス 4,671人（前年比：△341人） ②増便対策：J Rバス 葛巻線：5.5往復 ⇒ 7.5往復（増便） 大平橋線：3.5往復 ⇒ 5.5往復（増便） 県北バス 葛巻線：2.0往復 ⇒ 3.0往復（委託運行）	・町民の足である生活交通を確保するため、路線バスの増便や委託運行等により、利用しやすい環境を整備するとともに、高齢者をはじめとした路線バス利用者の負担軽減と利用促進を図るため、路線バス事業者及び利用者に対して助成金を交付した。 ・県北バスについては、令和3年度から葛巻町と九戸村を跨ぐ利用についても運賃100円で利用できるよう助成対象を拡大し、更なる利用拡大に努めている。
地域公共交通再編事業 【政策秘書課】	新規	【事業内容】 ・地域公共交通ネットワークの再構築（路線バス、通院バス、スクールバス等） 【事業実績】 ・特になし	・令和3年度に公共交通マップ（路線図・時刻表）を作成し、多様な形態で運行されている公共交通の見える化を図った。 ・今後も引き続き、低コストかつ効率的な公共交通体系の構築に向け、事業者のヒアリング等、調査・検討を行っていく。
高齢者等外出支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・75歳以上の高齢者及び重度の障がい者等に対するタクシー利用助成 【事業実績】 ・申請人数：302人、助成金額：2,062,020円	・町内でタクシーを利用した際にタクシー料金の一部を助成することにより、在宅の高齢者や重度の障がい者の外出時の移動を支援することができた。

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
先端技術活用促進事業 【政策秘書課】	検討	【事業内容】 ・IoTやAI、ビッグデータ、5G等の先端技術の活用を推進 【事業実績】 ・特になし	・町民の利便性向上に向け、IoTやAI、ビッグデータ、5G等の先端技術の活用を推進するとともに、行政手続きのオンライン化等を推進していく必要がある。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
安全・安心を守るまちづくり	自主防災隊防災訓練等 実施回数	実績値	8 回	2回	6回	2回	2 回	17回	総務課調べ
		達成状況		×	×	×	×		

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
消防団員確保対策事業 【総務課】	継続	【事業内容】 ・消防団員勧誘活動の推進 【事業実績】 ・消防団員数：269人（R4）⇒261人（R5） ※△8人	・消防団員の確保に向け、消防団員報酬の改定や資機材の整備など、消防団員に対する処遇改善を図っている。 ・今後、女性団員などの幅広い住民の入団促進に向けた取り組みや分団組織の見直しなどについて検討していく必要がある。
自主防災組織等体制強化事業 【総務課】	継続	【事業内容】 ・防災訓練等の実施、備蓄品等の充実確保 ・「地区防災計画」、「避難所運営マニュアル」等の策定 【事業実績】 ・学校や各種団体が実施する防災研修会等に防災対策専門員を派遣した。（3 団体） ・防災士の資格取得を支援した。（R5:1名） ・災害対策用の備蓄用物品及び食料品等を購入した。	・防災訓練や各種研修会等の実施回数については、新型コロナウイルス感染症が5 類に移行したあとも低水準のまま推移している。全国的に、災害が激甚化・頻発化している中、今後、地域防災力の充実強化に向けた取り組みが必要である。 ・災害対策用の備蓄用物品及び食料品等については、引き続き、計画的な整備に努める。

有識者会議及び議会の結果

<人口の社会動態>

- ・ 数値上、努力している印象。転入者の情報の分析が必要ではないか。

① 若者世代が暮らしたくなる住宅環境の整備

- ・ 若者定着率が伸びている要因を分析したほうが良い。
- ・ 町外出身者を雇用するに当たって、定住促進住宅は家賃が安価で居住環境が整っており効果的であった。更なる情報発信・PRが必要。
- ・ 空き家を自らの費用でリフォームすることは敷居が高く、老朽化が進んでいるものや残置物の問題などで、すぐに住める状態ではないのではないかと。
- ・ 移住にはすぐに住める住宅が必要で、町が空き家をリフォームして貸出や販売を行ってはどうか。住みたいと思わせることが重要で、リフォーム費用の心配がなく、整備済みの空き家をホームページ等での情報発信することや国道・県道沿線の見えやすい場所に整備すると効果的ではないか。また、宿泊施設が満室時の利用やスポーツ合宿での利用が期待できるのではないかと。

② 交通ネットワークの充実

- ・ バスの利用者も高齢化でバス停まで行けない問題がある。デマンド交通、配車サービスなどを組み合わせて、公共交通・通院バス・スクールバスを有効に利用できる環境を整備できないか。
- ・ 公共交通のフリー乗降区間を拡大してはどうか（現状、江刈地区のみ）。
- ・ 子どもが歩きやすいように歩道整備を充実させてほしい。
- ・ タクシー助成の要件を緩和し、遠方の住民でも中心部でのイベントに参加しやすい環境を作り、イベント来場者の増加と商店の活性化につながらないか。

③ 安全・安心を守るまちづくり

- ・ 転入者もコミュニティに入りやすい雰囲気を作っていかなければならない。
- ・ 消防団分団の再編を含めて消防団屯所の環境整備（水洗化）を進めることで団員の確保に繋がらないか。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和5年度末）

<進捗の目安>

- ◎ 順調 : 目標値以上
- 概ね順調 : 基準値以上
- × 努力が必要 : 基準値以下
- 実績なし

基本目標3

地域資源を活かす“しごと”

基幹産業の新たな展開や商工業の経営革新により、町民所得の向上と若者が魅力を感じる雇用の創出を図るとともに、町が持つ魅力をより一層輝かせることで、交流人口の拡大はもとより、移住・定住人口の増加を図ります。

■ 数値目標の進捗状況

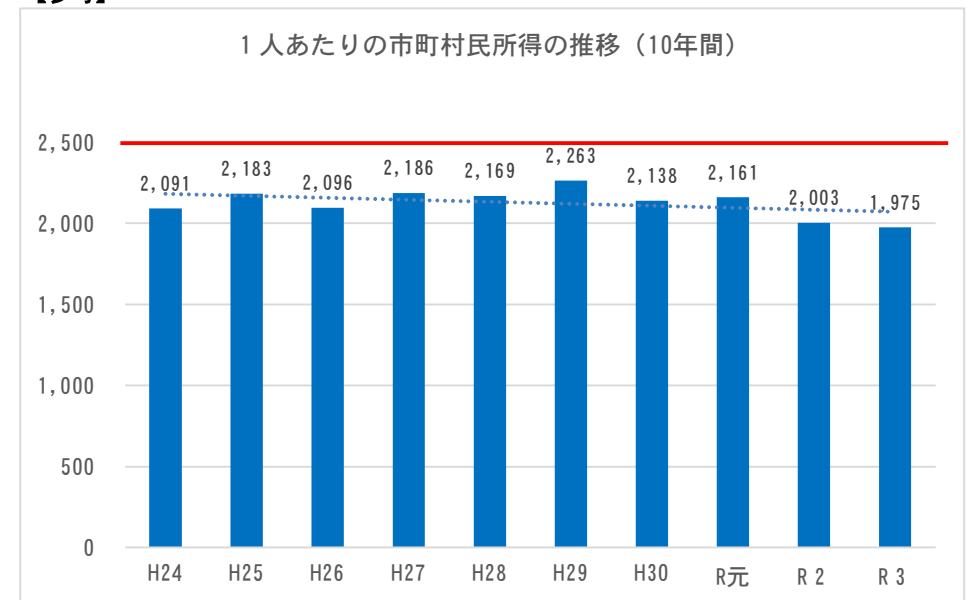
数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
町民1人当たりの分配所得	実績値	2,208千円	2,253千円	2,161千円	2,003千円	1,975千円	2,502千円	岩手県市町村民経済計算
	達成状況		○	×	×	×		

■ 数値目標の分析

【市町村民所得の状況】

- 令和3年度の1人あたりの市町村民所得は、1,975千円で、10年前（平成24年度）の2,091千円から、116千円減少している。
- 県平均（2,680千円）との比較は、△705千円となっている。
- 県内における順位を見ると、平成26年度以降33番目（県内ワースト）となっている。
- ※平成21年度から平成25年度については、葛巻町以降は沿岸被災地であったもの。

【参考】



戦略 3	元気に満ちた“しごと”づくりプロジェクト
-------------	-----------------------------

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値					目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
基幹産業の新たな展開と発展	生乳（生産量）	実績値	32,950t	32,611t	33,299t	33,464t	31,899t	47,600t	農林環境エネルギー課調べ	
		達成状況		×	○	○	×			
	再造林率	実績値	43.8%	46.6%	43.9%	45.1%	41.3%	50.7%	農林環境エネルギー課調べ	
		達成状況		○	○	○	×			

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
農業担い手研修助成 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農業後継者が研修に要する費用への助成 【事業実績】 実績：0 件	・ 新規就農者自体が減少しているため、新規就農者確保のための事業に見直しを図る必要がある。
農業経営持続化支援対策事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・ 高齢農家や小規模農家等の農業経営を、維持、継続できる体制整備に必要な経費等に対する助成 【事業実績】 実績：0 件	・ 新型コロナウイルスによる影響緩和のため、令和2年度に限り実施した事業であり、予算措置なし
草地畜産基盤整備事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 草地、飼料畑の造成整備や牛舎等の施設整備、機械導入に対する助成 【事業実績】 ・ 実績：0件	・ 令和 4 年度で葛巻第二地区の事業が全て終了したため、令和 5 年度は実績なし。 ・ 現在、葛巻第三地区の事業実施に向けて、調整を進めている。
畜産労働力負担軽減対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 畜産農家の労働力の負担軽減を図るため、除糞装置等の導入に対する助成 【事業実績】 ・ 実績：0件	・ 令和 5 年度は実績がなく、過去においても実施件数が少ないため、畜産農家のニーズに沿うよう、事業内容の見直しも図りながら、労働力の負担軽減に向けて取組を進めていく。

重点施策	区分	令和５年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
畜産・酪農収益力強化整備等 特別対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 中心的経営体が整備する、牛舎等の施設及び機械導入に対する助成（畜産クラスター事業） 【事業実績】 ・ 生産基盤拡大加速化事業（増頭）：４件 助成金額：３,８６０,０００円	・ 当町の基幹産業である酪農・畜産の事業継続が図られるよう、国・県及び町の補助事業を活用しながら、関係機関と連携し支援を進めていく。
地域農業計画実践支援事業 （いわて地域農業マスタープラン実践支援事業） 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農畜産物生産管理機械等の導入に対する助成 【事業実績】 ・ 畜産経営の効率化や粗飼料自給率の向上等に必要な機械整備の支援 助成件数：２件 助成金額：１１,７６０,０００円	・ 事業を要望する生産組合が多いが、県予算の都合上、計画どおりの採択に至らないことがある。 ・ 計画的に事業が実施できるよう支援していく。
基幹産業担い手確保支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・ 酪農・畜産インターンシップなどを通じた担い手の確保 【事業実績】 ・ 「牛とミルクのお仕事見学会」を開催 県立盛岡農業高等学校（３７名）	・ 酪農や畜産を専門的に学ぶ県内の若者へ、広く町の仕事や暮らしの情報提供を行うことができた。 ・ 今後は、事業を継続するとともに、酪農や畜産及び関連する産業の担い手の確保と若者の定住につながる取組の検討が必要である。
草地更新支援事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・ 良質の牧草生産による高品質な生乳生産を推進するため、草地更新に要する経費に対する一部助成 【事業実績】 ・ 助成件数：２１件 助成金額：９,１４９,７３３円	・ 草地は定期的に更新作業を行うことにより収量を確保することができ、今後も事業のＰＲを継続していく。
森林保全特別対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 再造林、除間伐、作業路整備、間伐材搬出に要する経費の一部を助成 【事業実績】 ・ 再造林：２０.１３ha ・ 下刈り：３７.４８ha ・ 除伐：２３.７１ha ・ 保育間伐：１７.９６ha ・ 作業道改良補修：１,８３０ｍ ・ 間伐材搬出：８２１ｍ³	・ 森林整備事業（国庫補助）及びいわて環境の森整備事業（県補助）に対する町の嵩上げ補助、さらには国・県補助がない施策に対して町の単独補助を行うことで、民有林の整備が推進されている。 ・ 森林経営計画の作成促進及び計画に基づく森林整備が行われるよう引き続き指導に努める。
町産材利用促進事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 町民が町産材を使用して建物を新築または増改築する場合に、建築費の一部を助成 【事業実績】 ・ 助成件数：０件	・ 木材利用への関心が高まる中、物価高騰の影響により、木材価格も上昇したため、助成件数が伸び悩んでいる。 ・ 引き続き広報紙等を利用し、町民への事業周知を図るとともに、木材価格の上昇に対応するため、制度の拡充を行う。
小さなふるさと産業活性化支援事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農林産物加工機械を導入する経費の一部助成 【事業実績】 ・ 実績：０件	・ 事業実施の意向のある団体の発掘等を進めていく。

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・加工施設及び機械設備を導入する経費の一部助成 【事業実績】 ・実績：0件	・事業実施の意向のある団体の発掘等を進めていく。
道の駅レストラン整備事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・町内の農産物を活用した飲食施設を整備 【事業実績】 ・0 円	・令和 5 年度途中より休業となっていたため、安定的な経営を行える事業者によるリニューアルを進める。
山ぶどう魅力発信事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・山ぶどう振興とくずまきワインの更なる P R による持続可能な産地確立に向けた支援 【事業実績】 ・0 円	・予算措置はないものの、引き続き他事業を通じて山ぶどうの魅力発信を進める。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
商店街の賑わいづくりと 商工業の発展	地元購買率の向上	実績値	46.9%	46.9%	45.7%	45.7%	45.7%	50.0%	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		○	×	×	×		

重点施策	区分	令和5年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
中心市街地活性化支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・ 中心市街地活性化イベントを開催するなど、賑わい創出による商店街への誘客と地元購買率の向上 【事業実績】 助成額：3,731,000円	・ イベント実施に終始せず、個店の魅力向上や他のイベントとの相乗効果を図る取組みが必要である。
商店等設備導入支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・ 商店の設備導入及び店舗改装等の支援 【事業実績】 助成件数：7件 助成額：2,771,000円	・ 商工業者の自主性が必要な事業ではあるが、毎年一定の利用があることから、補助金による直接的な助成のほか、計画的な設備更新等による中長期的な経営理念の向上にも繋がっている。
くずまき型持続可能な産業づくり支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・ 商工業者の技術取得や後継者育成、町内での起業等支援 【事業実績】 助成件数：1件 助成額：74,690円	・ 商工会等の総会時に情報提供を行っている。 ・ 利用実績が少ないため、更なる制度活用の周知を行う。
継業支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・ 商工業の事業承継の支援 【事業実績】 実績なし	・ 商工会等の総会時に情報提供を行っている。 ・ 利用実績が少ないため、岩手県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携や更なる制度活用の周知を行う。
空き店舗利活用事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・ 「空き店舗バンク」への登録支援 【事業実績】 実績なし	・ 商工会等の総会時に情報提供を行っている。 ・ 町内の商店等は住居兼店舗が大部分であるため、店舗の登録となると難しい側面もある。また、自分の代で事業は終わらせると考える事業主も多いため、登録に二の足を踏む事業者も多い。
くずまき型DMO事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・ まちなかエリアのリノベーションや起業家の掘り起こし及び起業の支援 【事業実績】 ・ 「月3万円のわたしごと」起業セミナー 計6回 参加者7人 ・ まちなかワークショップ/実践イベント 計8回 のべ参加者99人	・ 継続して取り組んできたことが形になりつつある。 ・ 起業セミナー参加者及びまちなかWS参加者についても、企画検討した後に、自立できるまでのフォローアップが必要である。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
魅力ある雇用の創出	新規起業家	実績値	1 件	0件	1 件	1 件	1 件	4 件	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		×	○	○	○		
	新規就業者 (農業・林業・商工業)	実績値	3人	5人	8人	5人	4人	8人	農林環境エネルギー課調べ（農林業） いらっしやい葛巻推進課調べ（商工業）
		達成状況		○	◎	○	○		

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
雇用促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・町内事業者が従業員を新規雇用した場合に助成 【事業実績】 若者（40歳未満）雇用：15事業所（38人） 高齢（60歳以上）雇用：3事業所（5人）	・前年度と比較して新規雇用件数が上回る状況となった。 ・雇用機会の確保に向けて、状況に応じたさらなる対策を検討しなければならない。
企業誘致活動 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・首都圏における企業立地セミナー開催や展示会への出展、企業訪問などによる新規企業誘致 【事業実績】 ・在京盛岡広域産業人会や県主催の企業立地セミナーへの参加によるP R など	・在京盛岡広域産業人会や各種団体のネットワークを活用するほか、情報発信にも力を入れ、更に誘致活動を推進する必要がある。
特定地方公共団体無料職業紹介事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・くずまき雇用サポートセンターにおける、無料職業紹介事業、移住希望者や高校生の町内就職支援、地場産業の担い手確保支援 【事業実績】 ・登録事業所24社、求人登録6社16件、求職者2人、就職実績1件	・「くずまき雇用サポートセンター」において無料職業紹介や相談等を行った。 ・今後はサポートセンターの事業内容を充実させ、町内における求人と求職のマッチングを強化していく。
くずまき型持続可能な産業づくり支援事業【再掲】 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業者の技術取得や後継者育成、町内での起業等支援 【事業実績】 助成件数：1件 助成額：74,690円	・商工会等の総会時に情報提供を行っている。 ・利用実績が少ないため、更なる制度活用の周知を行う。
くずまき型DMO事業【再掲】 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・まちなかエリアのリノベーションや起業家の掘り起こし及び起業の支援 【事業実績】 ・「月3万円のわたしごと」起業セミナー 計6回 参加者7人 ・まちなかワークショップ/実践イベント 計8回 のべ参加者99人	・継続して取り組んできたことが形になりつつある。 ・起業セミナー参加者及びまちなかWS参加者についても、企画検討した後に、自立できるまでのフォローアップが必要である。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
町の資源を活用した 観光交流の促進	観光客入込数	実績値	523,665人	184,801人	187,218人	186,526人	228,386人	578,980人	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		×	×	×	×		

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
誘客・滞在促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・首都圏における町単独の催事開催及び出店、SNS等での情報発信、PR資料の作成 【事業実績】 ・いわて銀河プラザでの観光物産PRイベントの開催 ・盛岡広域市町の連携による商談会やイベントでの誘客PR ・SNS等での情報発信のほかPR資料の作成	・いわて銀河プラザでの単独PRイベント開催のほか、盛岡広域 8 市町による商談会や観光物産イベントへの参加によりPRを行った。 ・今後においては、観光コンテンツのブラッシュアップによる着地型旅行商品の造成のほか、SNSやHP等の情報発信を強化し、コロナ禍前の観光客入込数の水準への復帰を図る。
くずまき型DMO事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・町の特色を活かした観光商品開発と地域の特産物によるお土産品開発を推進 ・若者・高校生による情報発信や起業家人材の育成を推進 【事業実績】 ・くずまき鍋を中心とした特産品等の販路拡大によるブランディング ・サイクルツーリズムの更なる推進	・第3セクター等において、くずまき鍋を中心としたレストランメニューや特産品開発を行い、くずまきファンの獲得による交流・関係人口の創出を図った。 ・サイクルを町内観光での滞在～周遊のコンテンツの一つとして活用するためにも、まずは町民がサイクルに親しめるため、小規模な試乗会などを継続して実施する必要がある。
外国人観光客誘客促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・台湾を中心とした外国人観光客誘客拡大のため、県等と連携したプロモーションの展開 【事業実績】 実績なし	・コロナ禍においてはインバウンド誘客活動は難しい状況であったが、コロナ禍が明けた現在では、多くのインバウンド客が来日しており、非常に重要な市場となっているため、誘客活動及び受け入れ態勢の整備を推進する必要がある。

有識者会議及び議会の結果

＜町民1人当たりの分配所得＞

- ・ 所得の状況については、その原因等を調査・分析する必要があるのではないか。
- ・ 産業振興については、農業、林業、商業が一体となった支援が行われており、ありがたく感じる。
- ・ 町での子育て費用の見える化（ライフプランの提示）し、支援制度を分かりやすく周知するなど、Uターンの施策を強化してはどうか。

① 基幹産業の新たな展開と発展

- ・ 農業関係の支援は充実しているものの、補助基準額を超えるケースがあり、農家の負担が増しており、収入の減少要因となっている。補助率を増加させることで農家の負担が減少し、収入の増加につなげる必要があるのではないか。
- ・ 北海道の事例では、農業と土木業と連携した取り組みが行われており、酪農家が搾乳に専念するため、機械のリースやTMR・コントラ・堆肥センター等の施設を集約化し、雇用の場を作っている。農作業を軽減させるためには組織化が必要ではないか。
- ・ 農業機械が高価となり、個々の農家が所有できなくなっている。また、稼働率も20％程度と低く、80％台まで引上げて有効活用する必要がある。
- ・ 特産品のブランド化を推進するとともに、農畜産物の安心安全をもっとPRできないか。
- ・ 後継者不在が課題となっている。外国人の雇用の場を作れないか。

② 商店街の賑わいづくりと商工業の発展

- ・ 商工分野では継業支援事業も行っているが、高齢層が元気で世代交代が進んでいないので、世代交代を推進していく必要があるのではないか。
- ・ 商工業について葛巻町は県内でも手厚い支援が行われており、設備の導入補助が好評である。また、低金利での借入支援もあり、県内でも自慢できる支援体制となっている。
- ・ 弁当の出前の配達をタクシーが行っている市町村もある。各業界とも連携してはいかがか。

③ 魅力ある雇用の創出

- ・ 設備投資に対する支援や空き店舗の活用など、新たな事業にチャレンジできる環境が欲しい。
- ・ 各業界に特化した補助制度があっても良いのではないか。

④ 町の資源を活用した観光交流の促進

- ・ DMO事業のセミナーやクラフト市を見ていると、パワー・活力・一体感を感じる。
- ・ くずまき鍋を食べるため県外の方が20名程度の団体で訪れるなど、発信力がある。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和5年度末）

<進捗の目安>

- ◎ 順 調 : 目標値以上
- 概ね順調 : 基準値以上
- × 努力が必要 : 基準値以下
- 実績なし

戦略 4

“つながり” づくりプロジェクト

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
関係人口創出・拡大	関係人口	実績値	432人	613人	836人	947人	989人	552人	いらっしやい葛巻推進課調べ (葛巻ふるさと会員、ふるさと納税者、イン ターンシップ参加者)
		達成状況		◎	◎	◎	◎		
	新規移住相談件数	実績値	52件	48件	38件	48件	42件	77件	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		×	×	×	×		

重点施策	区分	令和5年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
移住コーディネート事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・専任の移住コーディネーターの配置等により、個別のコーディネート強化 【事業実績】 ・担当課の職員が「移住コーディネーター」として移住相談に対応	・専任のコーディネーターを配置して、よりきめ細やかな移住・定住相談に応じられる体制を構築する。
Uターン者支援強化事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・Uターン希望者へのきめ細かな支援の充実 【事業実績】 ・移住相談を経て転入者 移住者5世帯（うちUターン1世帯）	・町出身者を関係人口として位置付けて、定期的に町の情報を積極的に発信するとともに、Uターンを希望される方々に対してはそれぞれのニーズに沿った効果的な支援を行う必要がある。
体験ツアー・体験居住支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・移住希望者向けにツアーの提供、また個人で移住相談等のため来町する場合の交通費、滞在費の支援 【事業実績】 ・くずまき暮らし体験ツアー2回（参加者10人）	・新型コロナウイルスの影響が少なくなってきたため、体験ツアーを夏・冬2回現地で開催した。 ・引き続き、町外からの来町機会として、参加者に魅力ある企画づくりを行っていく必要がある。

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
地域おこし協力隊制度活用事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・地域の活性化に取組む地域おこし協力隊の人材確保を検討 【事業実績】 ・くずまき山村留学生寄宿舎ハウスマスター：2 人 ・関係人口創出コーディネーター：1 人 ・企画提案型：1 人	・地域振興において効果的な分野に協力隊を配置して振興施策を推進するとともに、協力隊任期終了後の町への定着に向けて十分な活動支援を講じる。
情報発信充実強化事業 【いらっしやい葛巻推進課】	拡充	【事業内容】 ・SNS、くずまきライフビジョン、メーリングリスト等を活用した各種情報発信、情報発信の一元化 【事業実績】 ・Facebook：記事投稿63回 いいね数1,016件 ・ライフビジョン：情報発信件数619回 アプリ利用者数3,037件 ・メールマガジン：記事投稿20回 登録者203人	・現在展開しているSNS、くずまきライフビジョン、メーリングリスト等による情報発信について、町の関係人口の増加につながる取り組みであるが、より魅力的・効果的な情報発信に努めるとともに、その効果も検証しながら、町の情報発信のあり方について検討していく必要がある。
関係人口創出事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・町外滞在者を「(仮)くずまき応援団」として登録し、町へ多様な関わりとU I ターンの促進 【事業実績】 ・ふるさと納税者（800人）、葛巻ふるさと会員（165人）、インターンシップ参加者（24人）の人数増加に向けたPRを展開	・町出身者や「葛巻ファン」といっていただける方々に町と継続的なつながりを持っていただけるよう「くずまき応援団(仮)」の設置に向けて体制整備を図る。
トヨタ地域貢献プロジェクト 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・トヨタグループと連携した地域課題の解決や地域活性化等に関する事業 【事業実績】 ①買い物支援事業（スーパーくずまき）の実施 ②災害時の支援協定に基づく取組み	・包括連携協定等に基づき、小屋瀬地区の空き店舗を活用しての買い物支援事業（スーパーくずまき）や、災害時の給電機能付車両の支援が行われている。 ・今後も引き続き、包括連携協定に基づき、地域の課題解決や関係人口の創出に結びつく取組みを実施していく。
地域間交流・連携強化事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・近隣市町村や全国の自治体等と連携した地域活力の創出や地域課題の解決等に関する事業 【事業実績】 ①みちのく盛岡広域連携都市圏（H28.1.15～）※盛岡広域 8 市町 ②北岩手循環共生圏（R2.2.18～） ※北岩手 9 市町村 ③特産品振興・観光交流に関する協定（R5.5.25～）※福島県広野町	・盛岡広域 8 市町で構成する「みちのく盛岡広域連携都市圏」では、生活の質の向上や経済の維持発展を図るための事業が実施されている。 ・北岩手 9 市町村で構成する「北岩手循環共生圏」では、農林水産物や再生可能エネルギー、観光などの強みを活かし、脱炭素社会と持続可能な地域社会を目指した取組みが進められている。 ・福島県広野町とは、地域経済の発展と住民相互の友好交流を促進するため、特産品振興や販路拡大等の取組みが進められている。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
拠点施設機能充実	指標なし	実績値							
		達成状況							

重点施策	区分	令和 5 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
交流拠点整備事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・役場庁舎を中心とした町の新たな拠点づくり 【事業実績】 ・新庁舎建設工事（第 1 期）が完了し、令和 4 年11月から開庁。 ・旧庁舎等解体撤去工事が完了。	・令和 4 年11月から新庁舎が開庁したところであり、引き続き 2 期工事の早期完成を目指すとともに、複合庁舎周辺の環境整備を進めていく。

有識者会議及び議会の結果

① 関係人口創出・拡大

- ・ 関係人口の数が多いのは評価できる。それをいかに人口増に繋げるかが重要。
- ・ 関係人口の増加には情報発信・PRが重要で、特産品を活用したファン、関係人口の獲得を推進し、関係人口をさらに発展させる施策を期待したい。
- ・ トヨタのブランド力を活用してトヨタプロジェクトをさらに活用できないか。
- ・ 山村留学生が各地で活躍しているのが葛巻町にとって大きな財産になるのではないか。山村留学生の多くが郷土芸能部で活動しており、それが財産となる得るのではないか。

② 拠点施設機能の充実

- ・ 複合庁舎くずま〜るが整備され、新たな拠点施設となり、環境面は整ったと感じる。新庁舎を有効活用した取り組みが必要ではないか（人が集まれる場所（食堂・カフェ等））